

放送ストリーミング情報収載

放送ストリーミング情報【2023No.280】(HP 収載)

分類：ネットストリーミング

局等：Digital Concert Hall

作曲家：ジェルジ・リゲティ

曲名：レクイエム

演奏：マティアス・ピンチャー指揮ベルリンフィル

関連サイト：<https://www.digitalconcerthall.com/ja/concert/54502>



2023年2月19日ベルリンフィル大ホールにおける演奏です。

以上の他に下記が演奏されました。

ベルント・アロイス・ツィンマーマン 《ユビュ王の晩餐のための音楽》

ボフスラフ・マルティヌー ヴィオラと管弦楽のためのラプソディ・コンチェルト
アミハイ・グロス(ヴィオラ)

ボフスラフ・マルティヌー

ヴァイオリンとヴィオラのための3つのマドリガル：第1楽章 ポコ・アレグロ
アミハイ・グロス(ヴィオラ)

ノア・ベンディックス=バルグリー(ヴァイオリン)

今回も PC 経由で再生してみます。

今回も、Brooklyn DAC+に仮想アースの Crystal E が、スピーカーケーブルの途中と DA-3000 に自作の仮想アースが使用されています。さらに、PC の USB ポートにも自作の仮想アースが使用されています。また、仮想アース Crystal Ep の導入(7)で報告したように Crystal EpY を Sonica DAC のアース端子に接続してみました。

今回も、再生経路の仮想アースに加えて、電磁波吸収テープ NRF-005T の導入(17)で報告した LAN ケーブルへの NRF-005T の適用を行っており、BPODCH の再生時に

は、ルーター／スイッチングハブ間およびスイッチングハブ／PC間のLANケーブルへの処理が関係しており、さらに電磁波吸収テープ NRF-005T の導入(18)で報告した PC から Sonica DAC までの USB ケーブルや SDIF 伝送のクロックケーブルと BNC デジタルケーブルも NRF-005T の処理を行っています。なお、今回からアンプとスピーカーの間にスピーカーアキュライザー SPA-7 を介在させています。

リゲティのレクイエムの出演者は下記のとおりです。

マケダ・モネ(ソプラノ)

ヴェルピ・ライサネン(メゾソプラノ)

ベルリン放送合唱団

リゲティのレクイエムは、初めて聴くものですが、モーツァルトやヴェルディのレクイエムあるいはブラームスのドイツレクイエムと違って、神秘的な和声が続いたかと思うと、突如叫び声のような歌唱が始まったりと意外性に富む曲です。そういった変化に再生能力が追随しています。

ツィンマーマンの《ユビュ王の晩餐のための音楽》は、ウイットに富んだ曲で、ハイドンやワーグナーなどの曲の一節がでてきたり、ギター、サキソフォン、オルガン、パイプオルガン、多彩な打楽器にピッコロやチューバまで活躍するという面白い曲です。

マルティヌーのヴィオラと管弦楽のためのラブソディ・コンチェルトは、ヴィオラ協奏曲のようで、ヴァイオリンのような華やかさはありませんが、しつとりと落ち着いた音色でラブソディ形式の曲です。

アンコール曲のヴァイオリンとヴィオラのための 3 つのマドリガルは、ヴィオラのグロスとコンサートマスターのバルグリーとのスリリングな掛け合いでした。

このように、一連の仮想アースと NRF-005T に加えて、スピーカーアキュライザーの導入により、いろいろな表情の曲の多様な表現への対応が一層可能になっています。

以上